



鳥 議 第 3 1 0 号
令和 6 年 9 月 2 4 日

鳥羽市長 中 村 欣一郎 様

鳥羽市議会議長 河 村 孝



予算決算常任委員長 南 川 則



令和 7 年度予算編成に対する提言書

去る 9 月会議において、令和 5 年度鳥羽市一般会計及び各特別会計並びに企業会計の決算審査を行いました。

例年と同じく 4 日間をかけて決算審査するとともに、議員間討議を実施したところ各委員からの提案、意見は 24 項目に及びました。

この 24 項目の意見等から予算決算常任委員長報告においても述べたとおり、各課の取り組みについて、今後においても市長をはじめ、職員の更なる努力に期待するところであります。

そこで、様々な分野における意見の中から、市が目指すべき姿を実現させるための事業の更なる進展を願い、市議会として下記の 3 点について提言するとともに、令和 7 年 1 月末までに、市長より提言に対しその考え方や方向性を含め、文書での回答を求めます。

記

- 1、地域共生社会の実現に向け、集落支援員や地域おこし協力隊を始め、地域の住民がつながり、支え合える施策を引き続き実施するとともに、成果の見えてこない事業については、その手法の見直し・廃止について検討されたい。
- 2、移住・定住支援については、国や県の補助金の範囲に拘らず、必要に応じて市単独予算の投入も視野に入れ、より大きな成果が得られるよう事業を推進されたい。
- 3、水道事業における水道耐震管整備にあたっては、効率的な更新を行っているものの、法定耐用年数を超えた管路延長の割合も高く、老朽化による破損等が危惧されていることから、水道利用者が安心して使用できるよう、各年度における管路更新距離の拡大を図られたい。